

令和4年度

学校評価アンケート結果

学校評価アンケート結果（生徒、保護者、職員）回答数及び回答率

	回答者	在籍	回答率
生徒	1学年	110名/119名	(92.4%)
	2学年	88名/120名	(73.3%)
	3学年	128名/187名	(73.3%)
	全学年	326名/426名	(76.5%)
		533名/559名	(97.7%) 令和3年度
		595名/683名	(87.1%) 令和2年度
		625名/732名	(85.4%) 令和元年度
保護者	1学年	64名/119名	(53.7%)
	2学年	41名/120名	(34.1%)
	3学年	60名/187名	(32.1%)
	全学年	163名/426名	(38.3%)
		337名/683名	(49.3%) 令和3年度
		337名/683名	(49.3%) 令和2年度
		95名/732名	(13.0%) 令和元年度
職員		49名/ 51名	(96.1%) 令和4年度
		48名/ 48名	(100%) 令和3年度
		51名/ 51名	(100%) 令和2年度
		45名/ 56名	(80.4%) 令和元年度

開かれた学校づくり委員 9名

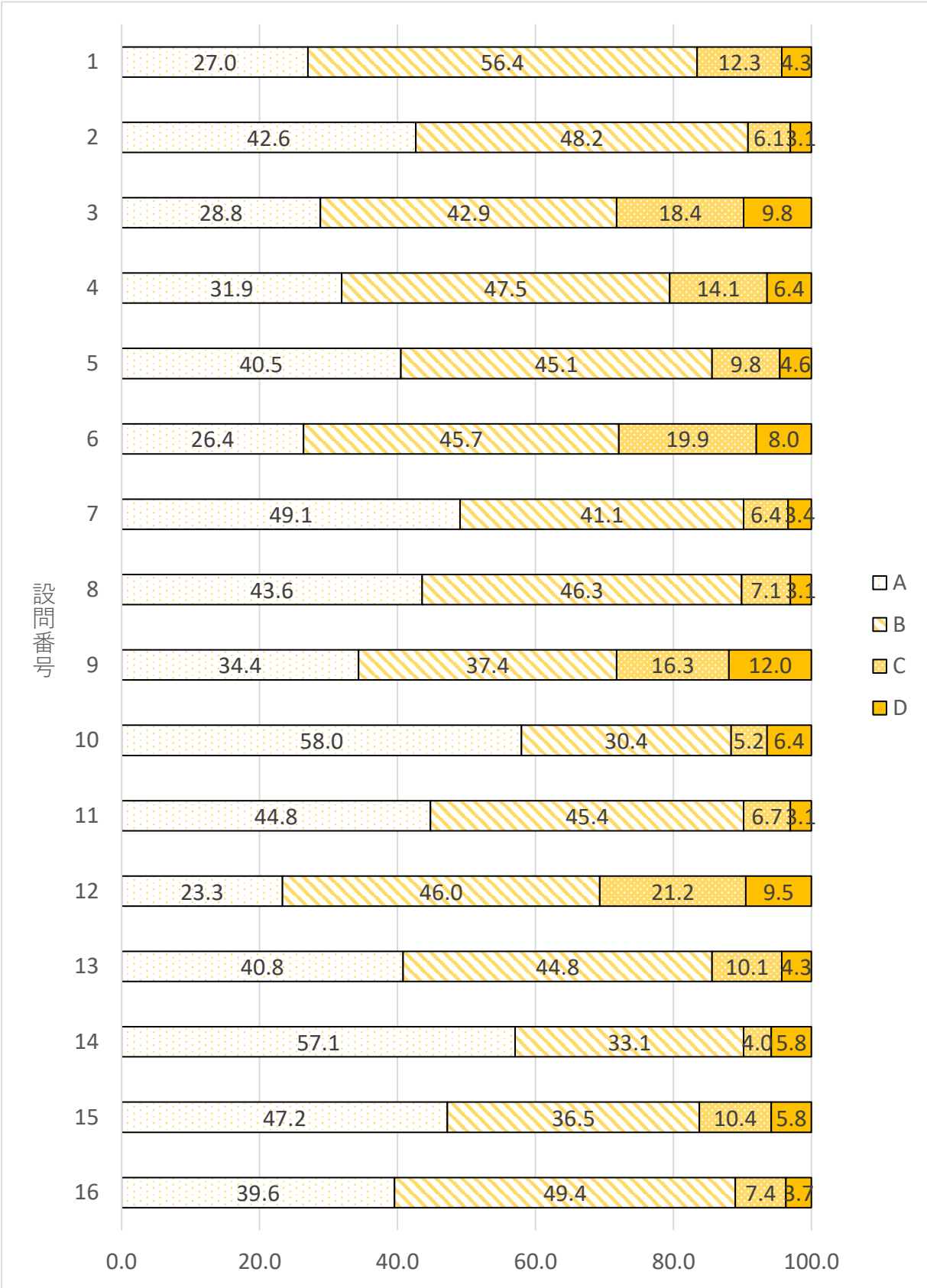
千葉県立鎌ヶ谷西高等学校

令和4年度 鎌ヶ谷西高校アンケート(生徒) 回答者数 326

- A … よく当てはまる
 B … やや当てはまる
 C … あまり当てはまらない
 D … まったく当てはまらない

集計結果

1	授業はわかりやすく、充実している。	A	27.0%	B	56.4%	C	12.3%	D	4.3%
2	先生方は、生徒の努力や授業態度を適切に評価してくれる。	A	42.6%	B	48.2%	C	6.1%	D	3.1%
3	高校に入学して、学習意欲をもつことができた。	A	28.8%	B	42.9%	C	18.4%	D	9.8%
4	生徒がよりよい学校生活を送るために、適切な生徒指導が行われている。	A	31.9%	B	47.5%	C	14.1%	D	6.4%
5	学校は、社会のルールやマナー、命の大切さについて教えている。	A	40.5%	B	45.1%	C	9.8%	D	4.6%
6	マナーがよく守られ、お互いに気持ちよく生活できる学校である。	A	26.4%	B	45.7%	C	19.9%	D	8.0%
7	学校は、人権尊重やセクハラ防止に配慮している。	A	49.1%	B	41.1%	C	6.4%	D	3.4%
8	一人一人に必要な進路情報が提供され、適切な進路指導が行われている。	A	43.6%	B	46.3%	C	7.1%	D	3.1%
9	学校の部活動は充実している。	A	34.4%	B	37.4%	C	16.3%	D	12.0%
10	文化祭、体育祭などの学校行事に楽しく参加している。	A	58.0%	B	30.4%	C	5.2%	D	6.4%
11	学校は、生徒の安全や健康によく配慮している。	A	44.8%	B	45.4%	C	6.7%	D	3.1%
12	校内は、清掃がゆき届いている。	A	23.3%	B	46.0%	C	21.2%	D	9.5%
13	先生方は、親身になって相談にのってくれる。	A	40.8%	B	44.8%	C	10.1%	D	4.3%
14	困ったときや悩んでいるときに、力になってくれる友人がいる。	A	57.1%	B	33.1%	C	4.0%	D	5.8%
15	学校生活を楽しく送っている。	A	47.2%	B	36.5%	C	10.4%	D	5.8%
16	学校は新型コロナウイルス感染症対策を十分取っている。	A	39.6%	B	49.4%	C	7.4%	D	3.7%



令和4年度 鎌ヶ谷西高校アンケート(保護者) 回答者数 163

A … よく当てはまる

B … やや当てはまる

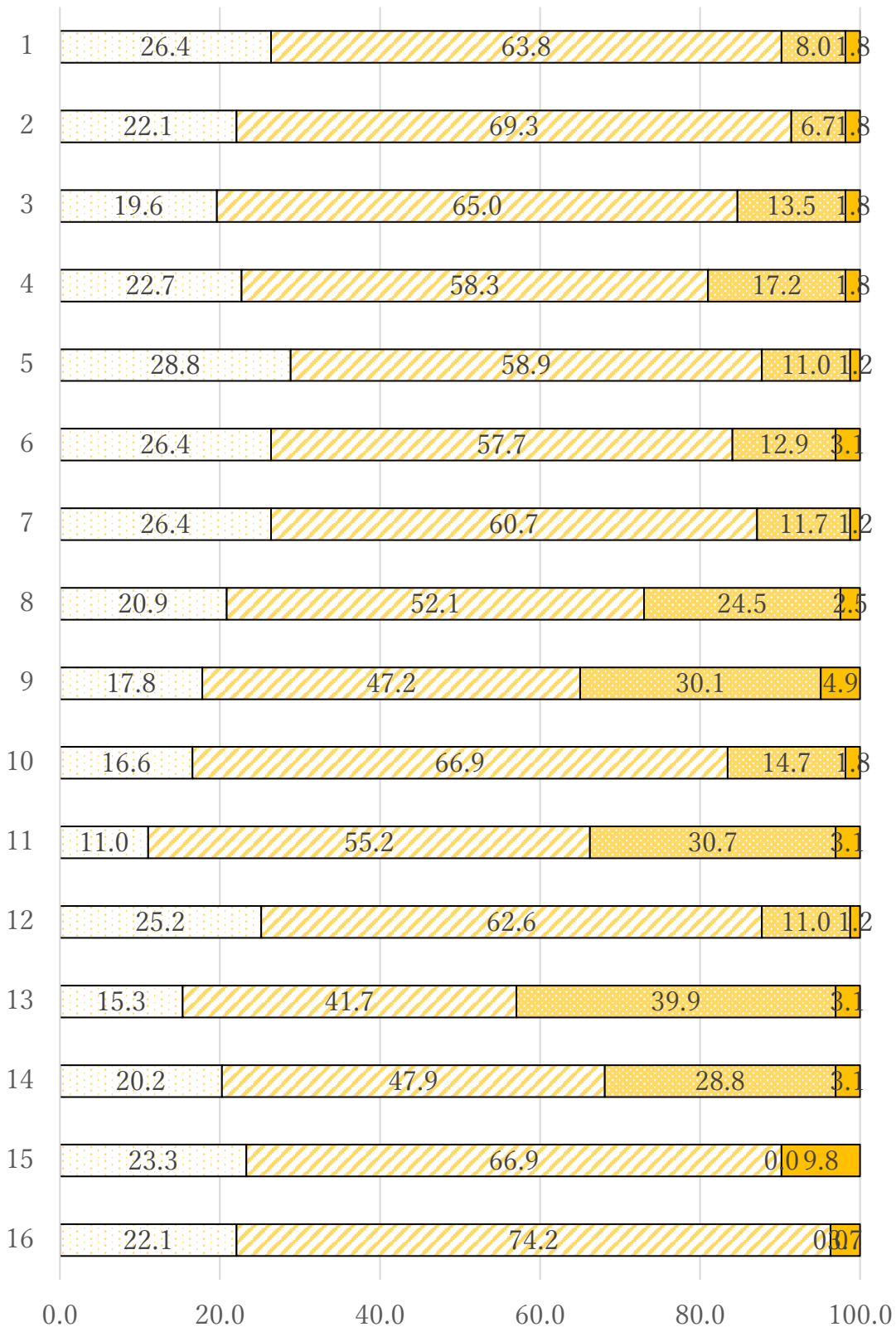
C … あまり当てはまらない

D … まったく当てはまらない

集計結果

1	本校の教育方針・教育目標は適切である。	A	26%	B	64%	C	8%	D	2%
2	教育方針・教育目標に則って、学校は生徒育成のために努力している。	A	22%	B	69%	C	7%	D	2%
3	教え方を工夫し、わかりやすい授業をおこなっている。	A	20%	B	65%	C	13%	D	2%
4	生徒をよく理解し、学校は能力や個性に応じた指導をしている。	A	23%	B	58%	C	17%	D	2%
5	生徒の努力や授業態度などを、学校は適切に評価している。	A	29%	B	59%	C	11%	D	1%
6	社会のルールやマナー、人権、命の大切さを尊重する態度を育てようとしている。	A	26%	B	58%	C	13%	D	3%
7	卒業後の進路について、学校は適切な指導をおこなっている。	A	26%	B	61%	C	12%	D	1%
8	文化祭、体育祭などの、学校行事がさかんである。	A	21%	B	52%	C	25%	D	2%
9	部活動が活発におこなわれている。	A	18%	B	47%	C	30%	D	5%
10	生徒の実態に即した教育課程や学校行事が組まれている。	A	17%	B	67%	C	15%	D	2%
11	授業用の施設、設備など、学習環境が整備されている。	A	11%	B	55%	C	31%	D	3%
12	生徒の安全や健康に関して、学校は適切な配慮をしている。	A	25%	B	63%	C	11%	D	1%
13	学校は、学校の様子を保護者に知ってもらおうと努力している。	A	15%	B	42%	C	40%	D	3%
14	安心して学校に相談できる雰囲気がある。	A	20%	B	48%	C	29%	D	3%
15	楽しく学校生活を送っている生徒が多いと感じる。	A	23%	B	67%	C	0%	D	10%
16	学校は新型コロナウイルス感染症対策を十分とっている。	A	22%	B	74%	C	0%	D	4%

設問番号



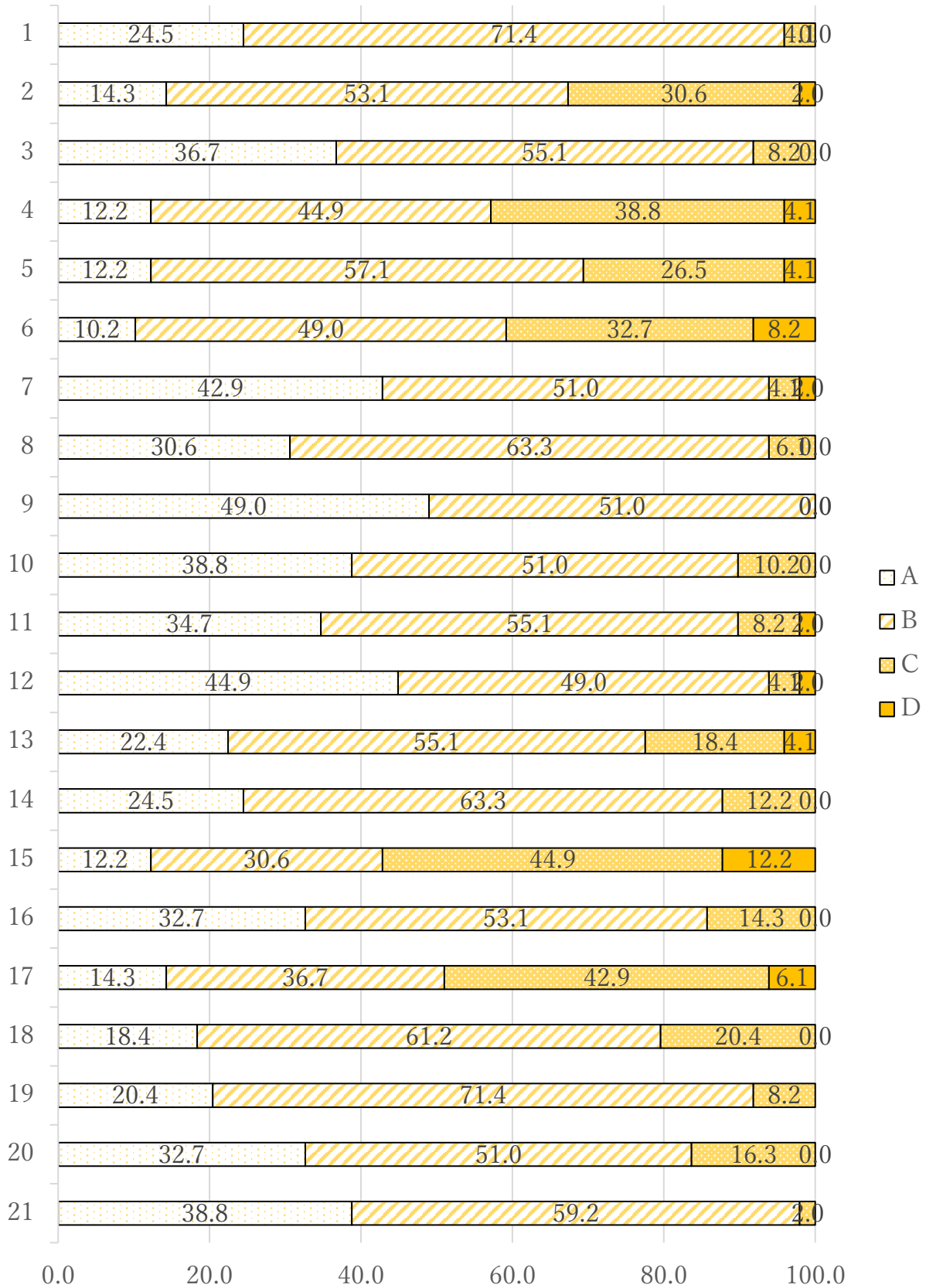
令和4年度 鎌ヶ谷西高校アンケート(教員) 回答者数 49

- A … よく当てはまる
 B … やや当てはまる
 C … あまり当てはまらない
 D … まったく当てはまらない

集計結果

1	本校の教育方針・目標は、生徒の実態に即しており適切である。	A	24%	B	71%	C	4%	D	0%
2	教育方針・目標が生徒、保護者に理解されている。	A	14%	B	53%	C	31%	D	2%
3	職員が教育方針・目標を理解し、生徒育成のために努力している。	A	37%	B	55%	C	8%	D	0%
4	円滑な学校運営をすすめるため、分掌、学年間や職員間の連絡、調整がよくとれている。	A	12%	B	45%	C	39%	D	4%
5	職員の意見が適切に反映されるよう、十分な話し合いを行っている。	A	12%	B	57%	C	27%	D	4%
6	職員の労働環境や心身の健康、セクハラ防止等について配慮されている。	A	10%	B	49%	C	33%	D	8%
7	各教科で、生徒の実態に即した教材の精選や指導方法の工夫に努め、わかりやすい授業を実践している。	A	43%	B	51%	C	4%	D	2%
8	職員は、生徒の立場に根ざした共感的理解に努め、能力や個性に応じた指導を心がけている。	A	31%	B	63%	C	6%	D	0%
9	生徒の努力や授業態度などを、適切に評価している。	A	49%	B	51%	C	0%	D	0%
10	生徒のルールやマナーを守る態度の育成に努め、特別な指導が必要なときに、迅速かつ適切な対応がとれる体制ができています。	A	39%	B	51%	C	10%	D	0%
11	人権や命の大切さを尊重する態度を養い、いじめやセクハラのない学校づくりに努めている。	A	35%	B	55%	C	8%	D	2%
12	生徒が進路について考え、望ましい職業観や将来展望がもてるような、系統的な進路指導を行っている。	A	45%	B	49%	C	4%	D	2%
13	生徒の実態に即して、課外活動(生徒会行事や部活動など)の活性化に努めている。	A	22%	B	55%	C	18%	D	4%
14	生徒の実態に即した教育課程や年間行事が組まれている。	A	24%	B	63%	C	12%	D	0%
15	教室や図書室、コンピュータや視聴覚関連設備、運動施設など、学校教育に必要な施設・設備が整備されている。	A	12%	B	31%	C	45%	D	12%
16	生徒の安全、衛生管理について、配慮している。	A	33%	B	53%	C	14%	D	0%
17	職員の、自発的な教育活動や研修活動を促す環境がある。	A	14%	B	37%	C	43%	D	6%
18	学校の情報を保護者や地域に知らせ、良好なコミュニケーションがとれるよう努めている。	A	18%	B	61%	C	20%	D	0%
19	生徒や保護者が安心して相談できる雰囲気づくりに努めている。	A	20%	B	71%	C	8%	D	0%
20	楽しい学校生活を送っている生徒が多いと感じる。	A	33%	B	51%	C	16%	D	0%
21	学校は新型コロナウイルス感染症対策を十分とっている。	A	39%	B	59%	C	2%	D	0%

設問番号



令和4年度 鎌ヶ谷西高校アンケート(開かれた学校づくり委員会) 回答者数 9

- A … とてもよく感じる
- B … 感じる
- C … あまり感じない
- D … まったく感じない

集計結果

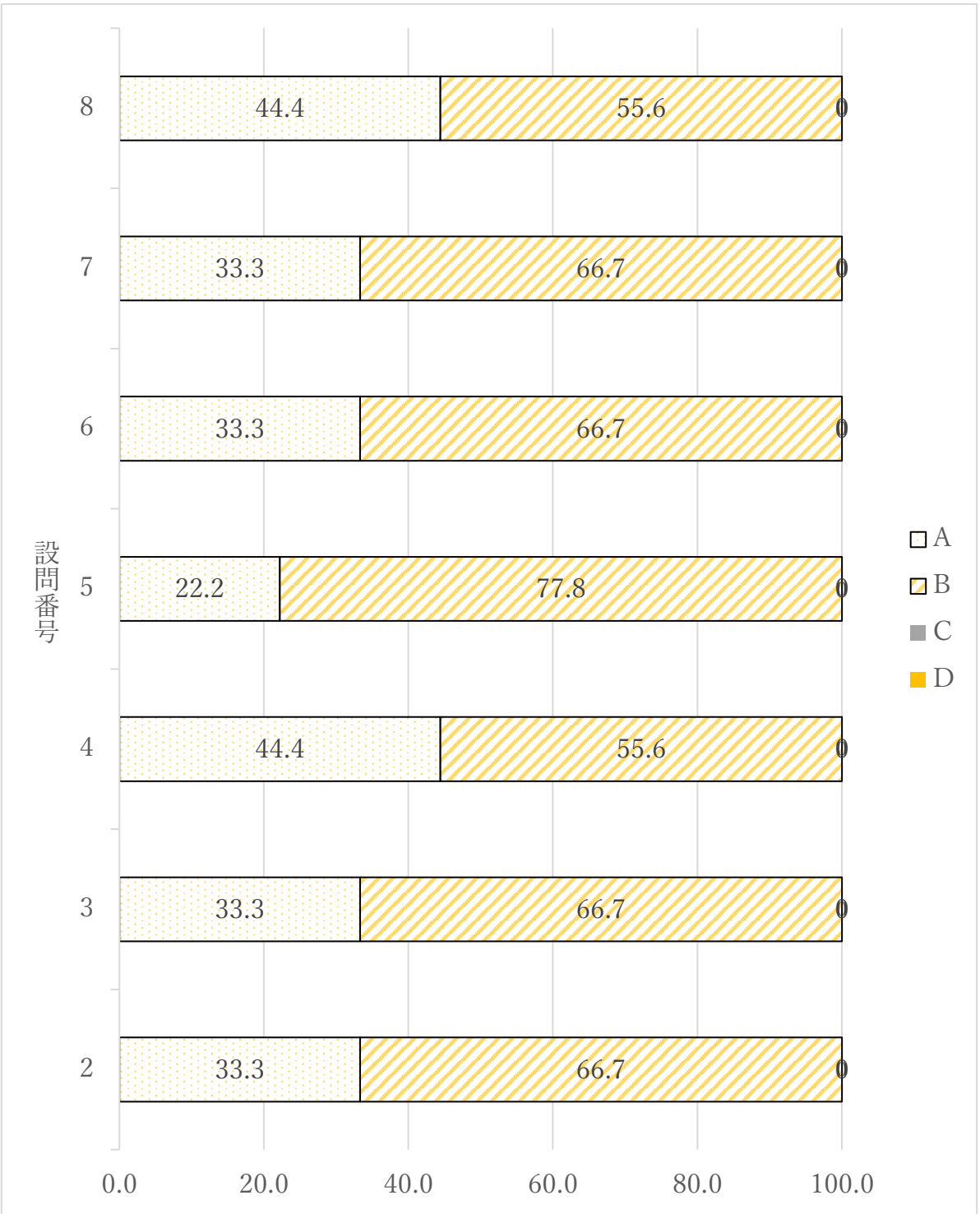
1	鎌ヶ谷西高校の情報はどのようにお知りになりましたか。(複数回答可)	ホームページ					1名		
		学校案内					0名		
		ポスター					0名		
		学校行事など(来校されて)					2名		
		生徒、卒業生、保護者などから口コミ					1名		
		書籍、情報誌、広域広報など					0名		
		その他					2名		
		情報発信が十分でない					0名		
2	授業の教え方を工夫して、分かりやすい授業を行っている。	A	33.3%	B	66.7%	C	0%	D	0%
3	生徒が集中するように目配りして指導している。	A	33.3%	B	66.7%	C	0%	D	0%
4	学校は、学校の様子を地域に知ってもらおうと情報発信をしている。	A	44.4%	B	55.6%	C	0%	D	0%
5	生徒の実態に即した教育課程や校内外の年間行事が実施されている。	A	22.2%	B	77.8%	C	0%	D	0%
6	学校は社会のルールやマナー、命の大切さについて教えている。	A	33.3%	B	66.7%	C	0%	D	0%
7	充実した学校生活を送っている生徒が多いと感じる。	A	33.3%	B	66.7%	C	0%	D	0%
8	学校は掃除がいきとどき、環境が整っている。	A	44.4%	B	55.6%	C	0%	D	0%

記述…鎌ヶ谷西高校に期待していること、望んでいること

保育基礎コースの設置など特性がある教育に期待しています。今後も保育に限らず、西校でなければという学びが増えていく事を願っています。

存在感をより高める活動を期待しています。ただ、目下の処はコロナ禍で難しい面があるかと思います。

昨年3月に卒業し 4月から社会人として頑張ってます。高校3年間で2年間コロナを体験し 我慢や人を思う心を身に付けられたと思います。在校生の皆さんも相手を思える 心優しい大人に育て欲しいと思っています。



自己評価まとめ（各分掌・学年より）

教務部

<p>(1) 反省点（反省内容+アンケートのどの部分についてかを含め）</p> <p>保護者や教員のアンケートで「生徒の実態に即した教育課程や年間行事予定が組まれているか」の項目で「当てはまらない」を選んでいる方がいる。去年より割合は減っているが、生徒のアンケートで授業が分かりづらいと感じている生徒がいる。</p>
<p>○反省点のまとめ（上記の意見を整理してください。）</p> <p>教育課程や年間行事予定について、より話し合いをしていく。授業に関してPDCA サイクル等を活用し、よりよい授業づくりをしていく。</p>
<p>(2) 来年度の重点目標（改善点）</p> <p>教育課程や年間行事予定の充実した話し合い。授業の改善や新たな授業の実践。</p>
<p>○目標達成に向けた具体的な方法</p> <p>コロナウイルス感染症の影響でできていなかった行事を見直しながら戻していく。PDCA サイクル等を利用した授業改善やタブレット等の端末を利用した授業を実践していく。</p>
<p>(3) 全体を通して気付いたこと</p> <p>保護者アンケートでは昨年に比べ肯定的な選択が全体的に増えた。しかし、学校の様子がわかりづらいという方が増えてしまっていた。</p>

生徒指導部

<p>(1) 反省点（反省内容+アンケートのどの部分についてかを含め）</p> <p>生徒アンケートでの「マナーがよく守られ、お互いに気持ちよく生活できる学校である」における肯定的評価が昨年に比べ増加した。それでも否定的評価が30%近くある。教員では同じ項目での否定派が微増している。</p>
<p>○反省点のまとめ（上記の意見を整理してください。）</p> <p>気持ちよく生活ができていないと感じる生徒が30%近くいることを生徒・職員がどう感じることができるか、また、どう変えていくことができるかが重要である。学校のマナー教育の充実のために地域や家庭とも連携していく必要がある。</p>
<p>(2) 来年度の重点目標（改善点）</p> <p>マナー教育の充実</p>
<p>○目標達成に向けた具体的な方法</p> <p>年2回ある安全教育以外にもLHRや総合的な探求の時間でマナー教育を充実させていきたい。また啓発だけでなく、行動に移せるように登下校指導など学校外でのマナーなども指導していく。</p>
<p>(3) 全体を通して気付いたこと</p> <p>保護者の皆さんのアンケートの回答率を高める。生徒と教員の考えがある程度知ることができた。自由喜寿の精査を今後さらに進めていきたい。</p>

総務部

<p>(1) 反省点 (反省内容+アンケートのどの部分についてかを含め)</p> <p>コロナ禍にあっても「楽しい学校生活を送っている生徒が多いと感じる」に肯定的意見が多く寄せられたことはよかった。芸術鑑賞会が開催できたことはよかったが、生徒が興味や関心を持ち、教養を深められる企画をさらに検討しなければならない。</p> <p>「地域や保護者とのコミュニケーション」については、本校の特色や良さを昨年度より伝えることはできたが、さらに積極的に広報に努める必要がある。</p>
<p>○反省点のまとめ (上記の意見を整理してください。)</p> <p>来年度に向けて本校生徒と教育目標にあった芸術鑑賞会を広い視点で企画していく。 学校説明会・見学会など中学校や地域へのPRをできる限り進めていく。</p>
<p>(2) 来年度の重点目標 (改善点)</p> <p>学校行事・広報活動の充実</p>
<p>○目標達成に向けた具体的な方法</p> <p>感染症対策を行ってうえで、文化祭へのPTAの参加を可能にしていく方策を考える。</p>
<p>(3) 全体を通して気付いたこと</p> <p>学校の活性化のために、部活動を促進していきたいが、生徒募集のためのPR活動を分掌として盛んにしていく。アルバイトや消極的な生徒でも継続できる部活動の在り方を模索していく。</p>

進路指導部

<p>(1) 反省点 (どの部分についてかを明記)</p> <p>概ねA・Bの高評価を受けている事がわかった。生徒に比べて保護者の評価が低いことより、学校での進路指導が生徒に良く行われているという評価を受けているが、保護者への情報が少なかったといえる。生徒から保護者へ状況を伝えるよう指導を徹底することでAの割合が増えるのではないかと考える。生徒や保護者に理解される進路指導を目指していく。</p>
<p>(2) 来年度の重点目標と目標達成に向けた具体的方法</p> <p>今年度は昨年に比べて就職希望者の中で、縁故就職や自己開拓の割合が大きかった。縁故就職はよいが、自己開拓の比率をもっと低くしていきたい。そのためには就職講座での指導の在り方の見直しや個別指導の徹底をしていく事が肝要であると考えます。</p>
<p>(3) 全体を通じて気づいたこと</p> <p>進路指導において全体としては一定の評価を得ているのだと知ることができた。高評価は生徒の意欲・関心の高さがあってこそ付けられるものであると考えられる。しかし、それに甘えることなく今後更に工夫・改善していきたい。職員でC・Dの評価をした方に、改善点&改善方法等をお聞きできれば業務内容を見直す事ができ、より良い進路指導に繋げる事ができると考える。</p>

管理厚生部

(1) 反省点 (反省内容+アンケートのどの部分についてかを含め)

「学校内の清掃」に関する質問は 88%の肯定的な評価、「コロナ感染症対策」に関する質問では、96%の肯定的評価を得ているが、取り組みがある程度評価されたものとする。

○反省点のまとめ (上記の意見を整理してください。)

今後とも新型コロナウイルス対策と安全点検を継続し、生徒が安全で健康な学校生活を送れるように取り組みたい。

(2) 来年度の重点目標 (改善点)

清掃状況の維持とコロナ対策の継続

○目標達成に向けた具体的な方法

登校時における手指の消毒の継続、クラス減・生徒減に対応した清掃分担体制の確立

学年

(1) 反省点 (反省内容+アンケートのどの部分についてかを含め)

「生徒をよく理解し、学校は能力や個性に応じた指導をおこなっている」

- ・異動 (転退学) する生徒が多く出てしまった。異動の事由はそれぞれだが、いずれの生徒に関しても、本校の学校生活に目を向けさせることができなかつた点においては力不足であった。

「高校に入学して、学習意欲をもつことができた」

- ・生徒に学習習慣を身に着けさせるための取り組みが不足していた。

「マナーが守られお互いに気持ちよく生活できる学校」

- ・およそ3割の生徒が当てはまらなかつたと考えており、部活動や清掃活動に不満がある現状に、自分たちの学校生活を自分たちで改善、活性化する自立心を育てきれなかつた点が反省点としてあげられる。
- ・円滑な学校運営をすすめるための、各部・職員間の連絡調整をもっと密にする必要がある。
- ・学年として約7割の保護者の片のご意見が寄せられていないこと。相談の必要性のある保護者の方とは面談や電話連絡等を密に行っているが、全体的に保護者の方が気軽に相談できる雰囲気がないと3割の方が考えている点

○反省点のまとめ (上記の意見を整理してください。)

- ・自他の尊重に配慮し自立心を持って学校生活、高校生活を送れる生徒の育成が達成できなかつたこと
- ・保護者の方にご意見を寄せられていない現状

(2) 来年度の重点目標 (改善点)

- ・進路活動に前向きに取り組み、進路実現のための力を身に着ける。
- ・自他を尊重できる人格の育成
- ・相互理解に基づいた、信頼の置ける学校環境作り

○目標達成に向けた具体的な方法

- ・進路活動に関する情報を適切に発信し、生徒の意欲を高める。
- ・個々の生徒に対してこまめに進路面談を行い、進路実現までの現実的な道筋をつける。
- ・進路実現に必要な学力をつけるための講座や補講などを展開する (課外授業のほかに、小論文指導・面接指導・資格取得講座などを含む)。
- ・日常的な道德教育の実践 (あいさつの励行、意見の尊重、静聴の習慣付け、など)
- ・教育公務員としての自覚 (教師としてあるべき理想の追求、討議)
- ・保護者、生徒、地域の人との意見の交換を密にする

(3) 全体を通して気付いたこと

- ・生徒や保護者の意見と教員の意見が乖離している。現状で良しとせず、生徒が真の意味で楽しく充実していると感じられる環境作りが必要と考える。

令和4年度 学校評価実施報告書

学校番号 46 学校名 千葉県立鎌ヶ谷西高等学校 課程名 全日制の過程

領域	自己評価の結果 (達成状況、結果の分析)	改善方策 (自己評価の結果を踏まえた課題・改善の方向)
学 校 経 営	<p>①各分掌・委員会の活動内容を整理・統合・効率化は組織改編と委員会で行っていた仕事の分掌への移管を進めた。</p> <p>②HPの構成に修正を加える抜本的な改革はできなかった。部活動などに委任されているHPの更新は順調に行われているが、教頭は忙殺され、記事や写真の確保ができず更新の優先順位を上げられない。</p> <p>③企画運営委員会等の議題の整理は年間を通して順調に行え、職員との認識の共有が図れた。</p> <p>④中学校等との連携及び交流はコロナの影響もあったが、生徒指導連絡協議会や開かれた学校づくり委員会や中学校訪問、松戸市の進路指導部会の先生方の訪問受け入れなどで満足できる程度に行えた。また、2・3年目研修で他校種交流も行うことができ、若手職員の刺激にすることができた。</p> <p>⑤鎌ヶ谷警察署と連携して交通安全や防犯のキャンペーン、北部公民館との親子料理教室の賛助などの広報活動が行えた。北部公民館には新年の賀詞も展示できた。</p> <p>⑥グラウンドと野球場を地域の少年サッカーチームと少年野球チームに開放している。</p> <p>⑦生徒向けにはデートDVや薬物乱用防止の研修を行うことができた。職員向けには、通知以外にも不祥事全般に関する研修を行うことができた。学期に1度のいじめアンケートや養護教諭やSCの活動、あるいはセクハラ・体罰アンケートが機能し、未然に対策を講じることができている。</p>	<p>①委員会の仕事を推進していた若手職員の安心感は増しているが仕事の絶対量や人員不足は解消できていないため労働時間の削減には至っていない。</p> <p>②HPの更新も分掌などの責任ある部署に移管し、学校のPRが定期的かつ積極的に行われるようにする。</p> <p>③人員削減を受け、分掌の長となり、学校の核となる人材の不足を組織力で補うことで企画運営委員会の機能を保全する。</p> <p>④次年度も引き続き、中学校訪問や部活動の交流、開かれた学校づくり委員会や地元との交流を介して、中学生との交流を図っていく。</p> <p>⑤次年度以降も地元の諸団体の要請を受け、様々な行事に積極的に参加することで、本校のアピールを行いたい。職員・生徒とも絶対的なマンパワーが足りていない。</p> <p>⑥来年度も学校行事や部活動に支障の出ない範囲で、開放を進めていく。</p> <p>⑦「自校からは不祥事を出さない」「いじめ・セクハラの根絶」をより徹底し、研修による刺激の継続や相談体制の強化を今後も推進する。また、個人情報の管理意識や、職員の交通事故などにも十分注意を払うよう、日常から注意喚起を行う。</p>
学 習 指 導	<p>①授業評価アンケートとで生徒の授業に対する肯定的評価が83%と昨年度83.1%からほぼ同じ評価を維持した。また、学習の評価への肯定的評価は91%と昨年から4ポイント上昇した。</p> <p>②生徒指導における生徒理解が学習指導での対話的で深い学びに結びつけることに気づく職員が増えてきている。授業観察とその後の管理職や先輩職員によるアドバイスが若手職員に自信を与え、授業に反映されている。</p> <p>③生徒の授業態度は、職員の粘り強い指導で落ち着いており、授業に取り組んでいる生徒が多い。学校評価アンケートにおいて「生徒への共感的理解や能力・個性に応じた指導」への職員の肯定的数値は94%であった。また、「生徒の努力や授業態度を適切に評価している」への肯定的評価は100%であった。</p> <p>④課外学習(補習等)はどうしても欠点を補うものを中心になってしまったが、進路に向けての資格取得や保育検定のための講座は複数回行われた。</p> <p>⑤今年度は2・3年目研修対象者を含めた授業公開・校内研究授業を3件(のべ人数2人)増やすことができた。</p> <p>⑥学校評価アンケートで保護者の授業に対する肯定的評価は85%で昨年度よりも4ポイント上昇した。</p>	<p>①学習意欲に対する質問には、肯定的評価が71%に留まるなど低い状態である。学習などの評価に対する肯定的評価は、観点別評価の運用と生徒理解の浸透が背景と考えている。ICTを活用した授業コンテンツの充実を図る。</p> <p>②現在の授業観察は散発的だが、今後は授業公開もシステム化されたものにしていく。</p> <p>③学習指導の先にさらに進路指導があることを若手職員に周知していく。</p> <p>④今後も生徒のニーズに合わせ、公務員講座や資格取得の推進を図るための講座開設を行っていく。</p> <p>⑤ベテランも含めた授業公開や中高相互の授業公開を企画していく。</p> <p>⑥学習指導に対する保護者の満足度は概ね高い評価となったが、ICTの導入による授業の充実で、保護者の評価を得ていく。</p>

生徒指導	<p>①生徒指導提要の見直しを受けて、規定の見直しと設定理由を明示した。学校評価アンケートの回答では生徒指導に対する肯定的評価は79.4%であった。</p> <p>②成人年齢の引き下げを見据えた生徒指導という点では、学校評価アンケートで「社会のルールやマナー、命の大切さを教えている」の質問項目に85%の生徒が肯定的に回答した。</p> <p>③SCへの相談件数は増えてはいないが、養護教諭からSCにつなげられ、病院の紹介に至るなど教育相談の機能が果たされている。また、合理的配慮で生徒保護者と合意を醸成しながら教育活動が行われている。</p>	<p>①生徒指導の規定が変わっていることが生徒に浸透していない部分があり、一部の職員の指導も表面的な部分が見られる。生徒指導が生徒理解やそのきっかけとなるように研修等を進めていく。</p> <p>②道徳と人権教育を通常の授業の中で組み込んでいく体制を構築し、アンケートの数値を上げていく。</p> <p>③次年度は教育相談委員会で、合理的配慮の申請と合意形成の手順を見直し、生徒・保護者の負担がないように整備していく予定である。</p>
キャリア教育	<p>①インターンシップは、コロナ禍で機会を得ることが難しい中、今年度は11月に保育園で3年生5名、2月に企業等に2年生12名生徒が参加した。また、職員は6月とインターンシップのために企業訪問を行った。</p> <p>②進路説明会を各学年単位で3回、クラス単位の指導を随時実施した。また、大学・専門学校を招いての進路説明会、1年生対象に卒業生による進路講演会、専門学校についての教員研修会を実施した。</p> <p>③ コロナ禍で様々な体験的活動が制限された。開かれた学校づくり委員会では、困難な中様々な工夫により（鎌ヶ谷警察署・北部公民館との文化系部活動の活動等）よく取り組んでいると評価された。</p> <p>④ 現役進路決定率90%以上、就職未定者は2名（1月末）である。</p>	<p>①今後もインターンシップや外部団体での実習を拡充していく。また、そのために教育課程の柔軟な対応も検討していく。</p> <p>②生徒のニーズに沿った研修会等を、進路指導部を中心に推進していく。</p> <p>③キャリア教育の充実に向け、入学後のオリエンテーションを工夫し、インターンシップをはじめとする体験的学習を紹介し、新入生の部活動加入率上げていく。</p> <p>④次年度も進路決定率95%以上、就職希望者決定率100%を目指していく。そのために、社会生活、経済生活、職業生活に関する意識を通常の授業で高めるべく、主に若手職員の授業研究を進めていく。</p>
特色ある教育活動	<p>①家庭科「車いす体験」等の関係機関と連携した特別授業を実施した。また、保育園実習も復活させることができ、5名の生徒が実習を行うことができた。保育検定の合格者も一定数出すことができた。</p> <p>②ユネスコスクール認定校として、ユニクロが主催する「服のチカラ」プロジェクトに参加し、地域の中学校や公共施設、企業などと協力し、子供服を集め、必要とする国や地域に送るボランティアを行った。</p>	<p>①保育の学びの各中学校への認知度は広がっており、生徒募集にも一定の役割を果たしている。令和6年度設置予定の保育基礎コースの整備を行っていく。</p> <p>②ユネスコ委員会は若手職員を中心とした委員会で組織として脆弱であり、一部の職員の負担が大きいので、こちらも分掌に組み込み、体制を整えたい。また、学校のPRの資源として活用する。</p>

(第3号様式-2)

<p>自己評価・学校関係者評価 ・今後の改善方策の公表について、時期や公表方法を明確に記入する。</p>	<p>P T A理事会にて結果報告と説明（1月） ホームページ上に掲出（3月中旬までに） P T A広報誌「蜂の巣だより」に掲出（3月上旬発行）</p>
--	--

※アンケート結果を集計して公表することで、学校評価の結果を公表したとみなすことは適当ではない。

領域	学校関係者評価の結果	学校評価のまとめ (課題と次年度に向けた改善策)
<p>学校経営</p>	<p>①学校評価アンケートから職員の労働時間や労働環境に管理職が配慮してほしい。 ②情報発信に努力してもらい、外部機関と情報共有を進めることで、職員が少しでも業務を減らせるようにしてほしい。そのために、外部機関を利用し頼ってもらってよい。 ④公立高校で「魅力ある学校づくり」は困難で職員の苦労がしのばれる。 ⑤職員と保護者の考え方や思うところの違いが分かり興味深いアンケート結果である。職員は大変かもしれないが頑張ってもらいたい。</p>	<p>①委員会の統合や分掌への吸収などを進め、職員の仕事の整理、精査に努めていく。 ②HPの管理を分掌に移管することで、継続的な更新を行っていく。 ④支援してくれる地域の中学校や保護者が多いため、中学校訪問やボランティアによる連携を深めていく。 ⑤学校の発信力向上も含め、保護者の授業参観日を計画していく。 ③⑥⑦に論評なし。</p>
<p>学習指導</p>	<p>①アンケート結果でも生徒・保護者とも高い満足度にあると考える。ただ、学習意欲に結びついていない点が残念である。 ②授業を参観して、生徒職員ともに笑顔で授業が展開され、職員とのやりとりが行われていることに安心と喜びを感じた。 ⑤「1人1台端末」もしくはBYODによる授業はとて大変である。中学校でも導入以来工夫を続けている。高校ではもっと大変かと思うが頑張ってもらいたい。</p>	<p>①②生徒理解と個に応じた指導計画など生徒のニーズに応じたきめ細かな学習指導を行うことで、授業への満足度と学習意欲を高めていく。 ⑤授業コンテンツの充実と端末の利用方法の浸透のために、職員から要望も上がっている研修を推進していく。 ②③④⑥に論評なし。</p>
<p>生徒指導</p>	<p>①アンケートで「楽しい学校生活が送れている」への生徒の評価が84%、保護者の評価が90%、職員が84%はまずまずの評価で安心できる。 ③保護者の「安心して学校に相談できる」への評価が67%しかないことは残念である。</p>	<p>①本年度は、様々な限定を設けながらも学校行事を行うことができた。今後も学校行事の充実に努めたい。 ③今年度はS S Wへの相談も依頼することになったが、S CやS S Wへの保護者の相談も積極的に案内していく体制を整える。</p>
<p>キャリア教育</p>	<p>①インターンシップが行えるようよかった。 ②進路実現に向けて適切な講演や研修が実施されていることに信頼を強くした。進路実現が順調になされていてよかった。</p>	<p>①インターンシップによる進路意識の刺激は強いので、今後の拡充を進路指導部と学年で検討している。 ②研修会の内容の充実と時期の検討、を進路指導部と新2・3学年で検討開始している。 ③④に論評なし。</p>
<p>特色ある教育活動</p>	<p>①「保育の学び」で「車いす体験」と「保育園実習」が行えたのはよかった。「保育基礎コース」での発展を期待している。 ①生徒の減少で、学校行事やボランティア活動などがうまく展開できないことが心配である。アンケートの自由記述にも辛辣なことが書かれているはずだ。職員の苦労は察するに余りある。ぜひ、頑張ってもらいたい。 ②市の社会福祉協議会でのボランティア活動等を活用してもらいたい。</p>	<p>①本校への理解と支援と期待は常に大きい。このことを職員への理解につなげるべく、地域との連携を推進していきたい。また、開かれた学校づくり委員会への若手職員の出席などの体制づくりを行っていききたい。 ②生徒数、クラス数の減少で、実施困難な状況にあるボランティア活動を、外部団体との連携で企画していく。</p>